

今宿地区の流雪溝、下水道建設どう進める

町長…合併浄化槽方式で具体化したい



小林 征雄 議員



整備が望まれる今宿地区の流雪溝・下水道



時間延長できないか、窓口業務



村岡 藤弥 議員

窓口業務の時間延長はできないか 町長：電話予約で対応します

不況下における町内企業の現況は
町長 派遣労働者の雇い止めや契約社員の契約打ち切り、正規社員にもこういった状況は及んできています。町内では最も上世紀さんで2月末まで雇い止めた従業員は約100人。内町民は25人。株大石田電子さんは4月をもって廃業すると聞いています。

緊急保証制度の利用状況は
町長 ほとんどの業種が該当するようになり、今年度4月から10件、保証制度がスタートした10月31日からは9件で、年度末へ向けて申請件数が増加すると予想されます。

再質問 行政ができることは限られている。利子補給などの優遇措置はできないか。
町長 町独自のかさ上げは難しいが、どのような要望があるのか研究し対応していきたい。

施設管理者には利用者を受動喫煙から守らなければならぬ努力義務が法律で課せられている。庁舎内における対策は。
町長 段階的に分煙を進めてきたが完全ではありません。灰皿を屋外に設置するなどよりいい方向へ改善していきます。

町民は休憩時間以外に来庁することは難しい。役場の窓口業務を時間延長できないか。
町長 行政運営の柱として「流雪溝網の全町敷設」を進めており大石田地区、横山地区ともに順調に進んでいます。岩ヶ袋・海谷地区も着手しており3地区とも国土交通省より水の確保をしていただきましたが、今宿地区は区域面積と人口等で事業採択に該当しません。冬期間流量が減少する隴気川からの取水が可能かどうかの調査と、河川管理者である県と河川協議が必要になります。

流雪溝、下水道ともに町全体で順調に進んでいる中で今宿地区だけが取り残されている。どう進める考えか。
町長 行政運営の柱として「流雪溝網の全町敷設」を進めており大石田地区、横山地区ともに順調に進んでいます。岩ヶ袋・海谷地区も着手しており3地区とも国土交通省より水の確保をしていただきましたが、今宿地区は区域面積と人口等で事業採択に該当しません。冬期間流量が減少する隴気川からの取水が可能かどうかの調査と、河川管理者である県と河川協議が必要になります。

再質問 国道347号のすぐ下流に土地改良区の揚水機が2台設置されて夏期間地区住宅のすぐ裏の水田まで水がきている有効活用してはどうか。
町長 地域全体、県道の部分も含めて、県事業として確約が必要となりますので、県や関係機関に強く働きかけ財政負担が

町長 各種証明書の発行を、定時まで来られない方のため、電話予約による時間延長を平日のみ行っていますが、年に数件程度です。周知を徹底し今後も実施します。緊急事態や特別な業務に対応するため日時を限るなど柔軟にしていきたい。

再質問 時間外の場合、窓口では火葬の時間はわからない。火葬業務が民間へ移行している現在、改善できる部分はあるかと思うか。
町長 仮予約ができるような仕組みを環境衛生組合と話し合い、不便のないようにしていきたいと思えます。



吸わない人も吸っている受動喫煙



どう活用する桂木町の町有地

少ない方策で設置できるように検討します。

下水道はどう進める。

下水道は町全体で平成24、25年で完了するというのに、今宿地区だけ着手の見通しもたっていない。明示すべきではないか。
町長 現在、今宿地区だけ具体的な実施年度は明確になっていません。理由として隴気川、五十沢川2つの川を渡る管路整備の必要があること。そのためポンプアップが必要になるため硫化水素の発生が懸念され建設、維持管理両方に多大な費用が必要となる事業から

合併浄化槽方式にならざるを得ないと考えています。地区の皆さんから一日も早い整備が望まれており21年度中に地域の皆さんと十分協議し合意形成の上、合併浄化槽方式で22年度より準備に入りたいと考えています。

桂木町にある大きな面積の町有地が、遊休状態になってから長期間たっている。どう活用する考えか。
町長 活用方法はまだ決定していません。住宅地として町内では一級地なので、定住促進のためにも若者向けの所得制限のない町営住宅建設などできないか検討します。